

平成24年度報告書
発行：平成25年3月

岡山県地域医療支援センター岡山大学支部

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1 MUSCAT CUBE 2階

TEL: 086-235-6833 / FAX: 086-235-6834

E-mail: toshihideiwase@cc.okayama-u.ac.jp

地域医療支援センター Webサイト

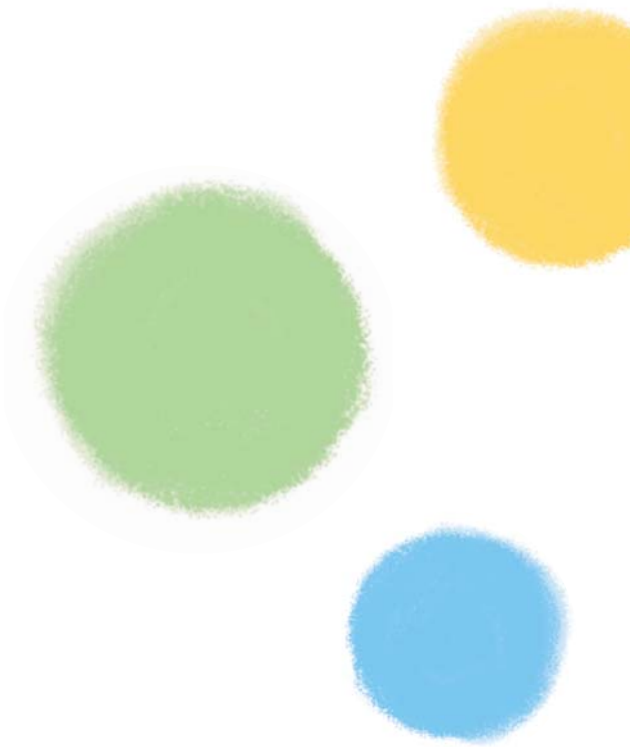
<https://sites.google.com/site/chiikiiryous33/>

平成24年度報告書

岡山県地域医療支援センター 岡山大学支部

Center for Medical Cooperation, Human Resources Placement
and Career Promotion of Okayama Prefecture





Center for Medical Cooperation, Human Resources Placement
and Career Promotion of Okayama Prefecture

安全・安心な地域づくりを目指して

平成24年度を振り返って

岡山県地域医療支援センターは平成24年2月に岡山県庁内に設立されました。岡山大学支部は同年4月に設置され、若輩ながら私が専任医師として務めることとなりました。糸島センター長や地域医療人材育成講座の片岡教授・佐藤教授など様々な方々の助けを借りながら、地域枠医師のキャリア形成支援や意欲を持って着任できる環境整備などの活動に微力ながら取り組みを始めることが出来たので、いくつか簡単にご紹介いたします。

キャリアモデル案の刷新

地域枠医師の9年間の義務年限における、より具体的なキャリアモデル案をいくつか作成し、リーフレットおよび講座チラシを刷新しました。十分な出来ではありませんが、一歩前進したと思います。

地域枠学生・自治医科大学学生合同セミナー

今まで実施できていなかった、地域枠学生・自治医科大学学生が一同に会するセミナーを湯原にて初めて開催しました。共に学び、率直な意見交換を行うことによって、交流を深めることが出来ました。平成25年度は企画の段階から学生に参加してもらう予定です。

地域医療ミーティングへの参加

北房地区、美甘地区、新見市の地域医療ミーティングに参加しました。地域の医療関係者だけでなく、地域住民も参加する会合であり、互いの本音を話し合えるよい機会でした。今後も積極的に参加させていただき、望ましい地域医療について協議したいと思います。

地域の医療機関でのシミュレーショントレーニングの開催

湯原温泉病院および吉永病院においてシミュレーション講習会を開催しました。地域の医療関係者全体をスキルアップさせ、医療力・連携力・教育力を向上させ、働きやすい職場づくりのお手伝いが出来ればと考えています。

これらの活動は、実に様々な関係者の皆様方に支えられて実施することが出来ました。この場を借りて、心よりお礼申し上げます。

INDEX

地域医療を支える
未来の医療人の育成

P.05 地域枠学生・自治医科大学学生
合同セミナー in 湯原

P.06 地域医療人材育成講座の行う
地域医療実習

P.07 医学生・大学院生講義

P.08 オープンキャンパス
(高校生・保護者への大学公開)

P.08 多職種連携と地域包括ケアの
ワークショップ in 美作

P.08 総社市山手地区地域包括
ケアワークショップ

地域枠卒業医師の
キャリア形成支援

P.09 キャリアモデル考案

P.09 リーフレット作成

P.10 医療人キャリアセンターMUSCAT
との協力

着任環境の整備に
関する助言・支援

P.11 地域の医療機関でのシミュレーション
トレーニング

P.12 地域医療ミーティング

P.13 地域医療機関の訪問・協議

地域医療を支える未来の医療人の育成



地域枠学生・自治医科大学生合同セミナー in 湯原

日程 平成24年8月18日(土)～19日(日)
場所 湯原温泉病院(レクチャー)
 湯原国際観光ホテル「菊の湯」(合宿ワークショップ)
参加者 (学生) 岡山大学医学部 地域枠, 広島大学医学部 ふると枠, 自治医科大学 岡山枠
 (教員他) 地域医療支援センター, 地域医療人材育成講座, 岡山県保健福祉部医療推進課,
 へき地医療支援機構, 湯原温泉病院 他
演者 湯原温泉病院 副院長 岡孝一氏
 真庭市 市長 井手 紘一郎氏
 真庭市医師会 会長 本山 雄三氏
 金田病院 理事長 金田 道弘氏



活動報告

将来、岡山と共に働くこととなる岡大・広大の地域枠学生、自治医科大学生が集まり、共に学び、交流を深める機会として、地域枠学生・自治医科大学生合同セミナー in 湯原を岡山大学大学院地域医療人材育成講座と共催で開催しました。学生33名、スタッフ・ゲスト15名が参加しました。

岡山駅に集合し、バスで湯原へ向かいました。湯原温泉病院にて自治医科大学出身の岡副院長から、真庭圏域における地域医療の現状についてレクチャーをいただいた後、野村院長らに施設を御案内いただきました。ホテルに移動し、真庭市井手市長、真庭市医師会本会長、金田病院金田理事長から真庭市の特徴、医療機関の連携、病院コンシェルジュの取り組み等について御講話いただきました。しっかりと勉強した後は食事をしながら意見交換を行い、交流を深めました。

2日目は岡山大学大学院地域医療人材育成講座の佐藤教授、片岡教授を講師として、老々介護に関する状況や今後のキャリアについて考えるワークショップを行いました。大学や学年を越えて積極的に意見を交わす姿が印象的でした。昼食後に集合写真を撮り、帰路につきました。



プログラム

8月18日(土)
 10時～ 岡山駅西口バスターミナルを出発
 12時～ 昼食
 13時～ レクチャー・施設見学(湯原温泉病院)
 15時～ 移動、チェックイン
 16時～ 講話: 真庭市井手市長
 16時15分～ 質疑応答
 16時20分～ 講話: 真庭市医師会本本会長
 16時35分～ 質疑応答
 16時40分～ 講話: 金田病院金田理事長
 16時50分～ 質疑応答
 16時55分～ 総括: 金田病院金田理事長
 17時～ 休憩・入浴
 18時半～ 夕食・意見交換会
 8月19日(日)
 7時半～8時 朝食
 9時～12時 ワークショップ
 12時～ 昼食
 13時～ 移動
 15時頃 岡山駅到着



地域医療人材育成講座の行う地域医療実習

- 平成24年9月3日～9月14日 1年生: 早期地域医療体験実習
- 平成25年3月4日～8日 3年生: 地域医療体験実習I
- 平成24年5月28日～6月1日、平成24年10月22日～10月26日 4年生: 地域医療体験実習
- 平成24年8月20日～8月24日 5年生: 離島医療体験実習

活動報告

1年生: 早期地域医療体験実習

地域枠学生6名、一般枠学生7名を対象に、10実習協力施設(哲西町診療所、湯原温泉病院、金田病院、大原病院、奈義ファミリークリニック、吉永病院、ももたろう往診クリニック、藤井クリニック、水島中央病院、土庄中央病院)で、2週間(1施設1週間)の実習が行われました。実習期間中の学生の日報に対するコメントを担当しました。また、9月12日には藤井クリニックを訪問し、実習の様子を確認しました。

3年生: 地域医療体験実習I

地域枠学生6名、一般枠学生36名を対象に、22実習協力施設(渡辺病院、新見中央病院、長谷川記念病院、高梁中央病院、成羽病院、湯原温泉病院、金田病院、奈義ファミリークリニック、津山ファミリークリニック、湯郷ファミリークリニック、吉永病院、ももたろう往診クリニック、藤井クリニック、つばさクリニック、水島中央病院、金光病院、矢掛病院、井原市民病院、笠岡市民病院、土庄中央病院、因島病院、朝来梁瀬医療センター)で、1週間の実習が行われました。実習期間中の学生の日報に対するコメントを担当しました。また、3月5日には朝来梁瀬医療センターを訪問し、実習の様子を確認しました。

4年生: 地域医療体験実習

5月には地域枠学生3名、一般枠学生10名を対象に、9実習協力施設(渡辺病院、長谷川記念病院、津山ファミリークリニック、吉永病院、ももたろう往診クリニック、金光病院、つばさクリニック、水島中央病院、土庄中央病院)で、1週間の実習が行われました。

10月には地域枠学生5名、一般枠学生8名を対象に、11実習協力施設(渡辺病院、新見中央病院、長谷川記念病院、湯原温泉病院、津山ファミリークリニック、大原病院、吉永病院、ももたろう往診クリニック、つばさクリニック、笠岡市民病院、土庄中央病院)で、1週間が行われました。いずれの実習期間中も学生の日報に対するコメントを担当しました。また、10月23日には笠岡市民病院を、24日には湯原温泉病院を訪問し、実習の様子を確認しました。

5年生: 離島医療体験実習

3名を対象に、下飯村国民健康保険直営手打診療所(鹿児島県)、小値賀町国民健康保険診療所(長崎県)で、1週間の実習が行われました。10月4日～5日に小値賀町国民健康保険診療所を訪問し、今後の学生実習について協議しました。

09/03の活動報告					
満足度	✓ 非常に満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	非常に不満
達成感	✓ 十分に達成	やや達成	どちらとも言えない	やや不十分	非常に不十分
理解度	✓ 十分に理解	やや理解	どちらとも言えない	やや不十分	非常に不十分
経験	✓ 経験の増進	✓ 経験の増進	経験の増進	経験の増進	経験の増進
振り返り	行はなりましたが、医師や看護師の方々はとても楽しくフレンドリーでした。小児科の診療実習でしたが、医師の方と患者さんとの関係が非常に良く、患者さんとの接し方など非常に勉強になりました。実習を通して、地域医療の重要性が改めて実感できました。また、一人一人の役割がしっかりと分かって、チームワークが非常に良かったです。また、一人一人の役割がしっかりと分かって、チームワークが非常に良かったです。				
コメント	● 研修 湯原(湯原温泉病院) (2012/09/04 17:17:15) 診療部で小児科実習を体験し、上級医の先生から、病歴から、病状を、検査結果から病状を、医師の先生から、小児科実習を体験し、湯原温泉病院で実習しました。先生は非常に優しく、自分の持っている知識が活かせるように指導してくれました。先生は非常に優しく、自分の持っている知識が活かせるように指導してくれました。先生は非常に優しく、自分の持っている知識が活かせるように指導してくれました。				
● 研修 新見(新見中央病院) (2012/09/03 23:04:55) 実習終了お疲れ様でした。地域医療の重要性が改めて実感できました。今日の研修を通して、地域医療の重要性が改めて実感できました。今日の研修を通して、地域医療の重要性が改めて実感できました。今日の研修を通して、地域医療の重要性が改めて実感できました。					
● 研修 湯原 (2012/09/03 21:05:21) 今日から湯原に実習です。医師の先生から、病歴から、病状を、検査結果から病状を、医師の先生から、小児科実習を体験し、湯原温泉病院で実習しました。先生は非常に優しく、自分の持っている知識が活かせるように指導してくれました。先生は非常に優しく、自分の持っている知識が活かせるように指導してくれました。先生は非常に優しく、自分の持っている知識が活かせるように指導してくれました。					

▲ eポートフォリオによるフィードバック

地域医療を支える未来の医療人の育成



医学生・大学院生講義

- 平成24年5月22日 「情報の取り扱いについて」
- 平成24年7月24日 「実習に行く前に」
- 平成24年9月11日 「疫学者から見た地域医療」
- 平成25年2月1日 「スタンダードプリコーションズ」
- 平成25年2月8日 「医療コミュニケーション」

活動報告

「情報の取り扱いについて」

岡山大学地域枠学生に対してミニレクチャーを行いました。また、広島大学ふると枠学生、自治医科大学学生にも送付し、自習を促しました。

「実習に行く前に」

早期地域医療体験実習へ参加する岡山大学医学科1年生14名に対して講義を行いました。

「疫学者から見た地域医療」

老年医学・緩和医療特論Ⅱを受講する岡山大学大学院生1名に対して講義を行いました。「地域医療」をどう定義するか、地域医療がうまく成り立っている状態をどう考えるか、地域医療の関係者は誰か、これからの状況の変化がどう影響するか、などについて討議を行い、どのように地域医療に関わっていくべきか協議しました。

「スタンダードプリコーションズ」

地域医療体験実習前へ参加する岡山大学医学科3年生42名に対して講義と実習オリエンテーションを行いました。

「医療コミュニケーション実習」

地域医療体験実習前へ参加する岡山大学医学科3年生42名に対して講義を行った後、模擬患者さんとの実習のファシリテーターを務めました。

※当日の資料より抜粋

やってはいけないこと

- ・ 秘密の漏洩
刑法134条には守秘義務が規定されている。
知りえた情報の取り扱いには十分に注意すること。
- ・ 権利の侵害
著作権や肖像権等に注意すること。
使えるからといって、勝手に使っていないわけではない。

1/100と1/1

君たちは、これからたくさんのお客さんに会います。

君たちにとっては多くのお客さんのうちの1人ですが、患者さんから見たら、1/1の出来事です。

他の日はとっても真面目で優秀だとしても、ちょうど実習の日だけ二日酔いだったら、患者さんにとっては「二日酔いの医学生」でしかありません。

標準予防策の概要

- ・ ウイルスの存在に関係なく、すべての血液、体液等を感染物とみなして標準策を取る。
- ・ ①血液・体液、汗を多く分泌物、排泄物、口噴している皮膚、②経腸・経膈に注意して避ける。
- ・ 内容
 - 手衛生行動
 - 手袋
 - マスク、アイ・プロテクション
 - ゴウシ
 - 針・鋭利な物の取り扱い など

医療面接の役割

1. 医師-患者関係の構築
効果的な医師患者関係を構築し、それを維持する。
2. 患者の健康問題の評価
患者の健康問題を評価するための情報収集をする。
3. 患者の健康問題のマネジメント
患者教育や治療への動機づけを行う。

(7メディアオンラインナビ)

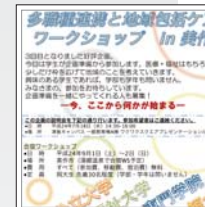


オープンキャンパス(高校生・保護者への大学公開)

- 日程 平成24年8月3日
- 場所 岡山大学医学科キャンパス

活動報告

平成24年8月3日に行われた岡山大学医学科のオープンキャンパスに協力しました。午前の部・午後の部と合わせて974名が参加したとのことでした。地域枠相談コーナーを設け、地域枠学生・県庁職員と共に高校生・保護者からの質問に対応しました。



多職種連携と地域包括ケアのワークショップ in 美作

- 日程 平成24年9月1日(土)～2日(日)
- 場所 場所 美作市ゆのうら美春閣

活動報告

岡山大学医学部医療政策・医療経済学の浜田教授の企画したワークショップにファシリテーターとして協力しました。岡山大学、川崎医療福祉大学、新見公立大学、美作大学、旭川荘厚生専門学校 の院生・学生46名と教員10名が参加しました。



総社市山手地区地域包括ケアワークショップ

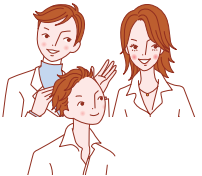
- 日程 平成25年2月16～17日
- 場所 ふれあいセンター山手、サンロード吉備路

活動報告

岡山大学地域総合研究センターの企画したワークショップにファシリテーターとして協力しました。岡山大学、岡山県立大学の学生、教員合わせて約40名が参加しました。

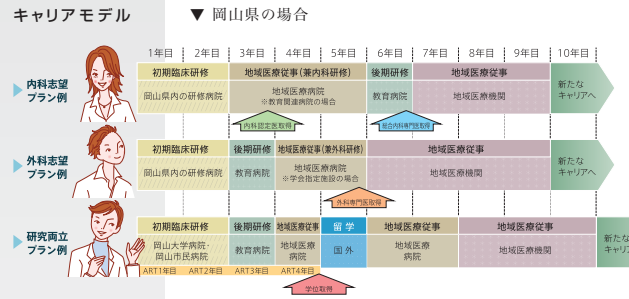
地域卒業医師のキャリア形成支援

キャリアモデル考案




制作物
 ・県庁リーフレット(A4サイズ/両面フルカラー)
 ・講座チラシ(A4サイズ/両面フルカラー)

活動報告 岡山大学大学院地域医療人育成講座と協同で、地域卒業学生の卒業キャリアモデルを考案し、県庁の地域卒業リーフレットおよび地域医療人育成講座広報チラシを刷新しました。



リーフレット作成



制作物
 ・地域医療支援センターリーフレット(A4サイズ/両面フルカラー/観音折り)

活動報告 地域医療支援センター本部と協同し、地域医療支援センターのリーフレットを作成しました。



医療人キャリアセンターMUSCATとの協力



- 平成24年11月23日 第3回 岡山MUSCATフォーラム
『Front runnerと語る-グローバル時代の医療人として-』
演者：赤津 晴子 先生(米国スタンフォード大学内分科内科 准教授 Clinical Associate Professor, Medical Director Thyroid Cancer Program, Director Stanford-Japan Program)
場所：地域医療人育成センターおかやま(MUSCAT CUBE)3F MUSCATホール
- 平成25年1月23日 第1回 ケアを考えるセミナー「あなたを支える・明日に繋げる」
『地域だからこそできること〜介護・看護に思いを寄せて〜』
演者：山谷 富美枝 先生(医療法人敬和会 近畿病院 統括看護部長)
場所：地域医療人育成センターおかやま(MUSCAT CUBE)3F MUSCATホール

活動報告 第3回岡山MUSCATフォーラム 医療人キャリアセンターMUSCATの企画に共催しました。



第1回ケアを考えるセミナー「あなたを支える・明日に繋げる」 医療人キャリアセンターMUSCATの企画に共催しました。



着任環境の整備に関する助言・支援



シミュレーショントレーニング in 湯原

日程 平成24年10月24日
場所 湯原温泉病院

活動報告

湯原温泉病院で開催されたMUSCAT Sim ディレクターの万代先生によるシミュレーション講習会に協力しました。湯原温泉病院の看護師、技師、理学療法士、事務職員等に加え、実習に来ていた地域枠学生も参加し、一般的なBLS、不安定患者の初期対応について学びました。



シミュレーショントレーニング in 備前

日程 平成25年1月22日
場所 吉永病院併設総合保健施設

活動報告

吉永病院、岡山大学大学院地域医療人材育成講座と共催で、MUSCAT Sim ディレクターの万代先生によるシミュレーション講習会を吉永病院併設総合保健施設にて開催しました。シミュレーターを用いて、一般的なBLSに加え、ACLSの一部、不安定患者の初期対応について学びました。東備地区の医療機関に広く参加を呼びかけ、7施設から28名の方が参加しました。こうした取り組みを通して、地域の医療力・教育力の向上を図って行きたいと思います。



目前で倒れた人を助けるスキルを学びませんか?

シミュレーショントレーニング in 備前

● 病院全職員（医師者だけでなく、事務系の方も是非ご参加ください）

■ 2013年1月22日（水） ■ 午後2時～午後6時（ACLSは2時間参加）
18:00～19:00 ■ BLS（心肺蘇生法）について

■ 岡山県立総合保健施設 総合保健施設2階会議室

■ 万代 康弘 先生
〒700-8555 岡山県 備前市 吉永
岡山大学大学院 地域医療人材育成講座 准教授
岡山大学 医学部 附属 岡山大学病院 救急科

TEL 086-235-6833

岡山県地域医療支援センター岡山大学支部 / 支所
岡山大学 医学部 附属 岡山大学病院 救急科



地域医療ミーティング

- 平成24年11月7日 真庭市北房地域医療ミーティング
- 平成24年11月14日 真庭市美甘地域医療ミーティング
- 平成24年11月27日 第4回新見市地域医療ミーティング推進協議会

活動報告

真庭市北房地域医療ミーティング

真庭市北房地区の地域医療ミーティングに糸島センター長、浜田教授（岡山大学医学部医療政策・医療経済学）と共に参加しました。さくもとクリニックの作本院長から、北房地域の現状として、地域住民、社会福祉協議会、民生委員、愛育委員、医師らが協同して認知症患者や高齢者世帯を支援する「上水田ふれ合い助け合い隊」の活動をご紹介いただきました。北房地域では、診療所が効率的に配置され、地域との良好な関係を気づき、落合地域との病診連携がうまくいっているとのことでした。課題として、交通手段の確保、見守りが困難な事例への対応などが挙げられました。



真庭市美甘地域医療ミーティング

真庭市美甘地区の地域医療ミーティングに糸島センター長、浜田教授（岡山大学医学部医療政策・医療経済学）と共に参加しました。近隣の施設である片岡医院の片岡院長から、美甘地域の現状について解説していただきました。地域の診療所が2つ閉鎖され、湯原温泉病院から週2回の応援による診療体制の地域ですが、落合地域との病診連携がうまくいっており、それほど困った状況ではないとのことでした。住民からも概ね同意見が述べられました。今後は、日頃の保健活動の推進、健康診断受診率の向上、交通手段の確保等の課題に取り組んでいくこととなりました。



第4回新見市地域医療ミーティング推進協議会

新見市の地域医療ミーティングに参加しました。①医療従事者の確保対策、②新見市における医療のあり方（各医療機関の連携方法など）の検討を目標としているとのことでした。各方針の経過の確認が行われた後、平成25年2月3日に開催予定の「看護就職フェア（新見版）」や、新見市Webサイト内の医師募集ページの内容について協議が行われました。





地域医療機関の訪問・協議

活動報告

地域医療機関・関係機関への訪問・協議

- ・ 岡山県医療推進課（適宜）
- ・ 自治医科大学（平成24年6月7日, 11月1日）
- ・ 静岡県総合健康センター, 静岡県庁地域医療課（平成24年7月20日）
- ・ 県立津山高校, 広大附属福山高校, 県立倉敷青陵高校（平成24年8月1日）
- ・ 西粟倉村役場, 美作市立大原病院（平成24年8月22日）
- ・ 成羽病院（平成24年8月23日）
- ・ 岡山高校（平成24年8月24日）
- ・ 藤井クリニック, 高梁中央病院（平成24年9月12日）
- ・ しげい病院（平成24年9月20日）
- ・ 小値賀町国民健康保険診療所（平成24年10月4日-5日）
- ・ 矢掛町国民健康保険病院（平成24年10月10日）
- ・ 新見市役所（平成24年10月22日）
- ・ 笠岡市民病院（平成24年10月23日）
- ・ 湯原温泉病院（平成24年10月24日）
- ・ 広島県医療政策課（平成24年10月25日）
- ・ 鳥取県医療政策課（平成24年11月16日）
- ・ 兵庫県医務課（平成24年11月26日）
- ・ ハワイ大学（平成25年1月7日-9日）
- ・ 朝来梁瀬医療センター（平成25年3月5日）

地域医療支援センター岡山大学支部への訪問・協議

- 平成24年6月28日 岡山県医療推進課地域医療体制整備班
総括副参事 久山氏
主幹 宗田氏
- 平成24年11月12日 岡山市保健福祉局
保健・医療・福祉連携担当局長 森氏
保健課長 松岡氏
保健・医療・福祉連携課長 福井氏
副主査 徳田氏
- 平成25年1月22日 新見市福祉部
福祉部長 原氏
- 平成25年2月14日 成羽病院
医師 安井氏

業績

報告

小林朋子, 岩瀬敏秀, 高尾総司, 浜田淳: 職場におけるソーシャル・キャピタルと健康に関する実証的研究とベンチマークシステムの構築. Monthly IHEP, 214:28-30, 2012.

学会発表

- 平成24年7月27日 第44回日本医学教育学会(東京)
「地域医療実習の及ぼす学生の意識への影響」
岩瀬敏秀, 川畑智子, 佐藤勝, 片岡仁美
- 平成24年11月15日 第36回中国・四国精神保健学会(岡山)
「高齢者におけるインフォーマル・サポートの希死念慮に対する影響」
野口正行, 岩瀬敏秀, 鈴木越治, 岸本陽子, 高尾総司

学会・シンポジウム等参加

- 平成24年8月26-27日 第6回へき地・地域医療学会
平成24年11月28日 岡山市南地域在宅医療・介護連携意見交換会
平成24年11月30日 岡山大学地域創世ネットワークアカデミア主催勉強会
「中山間地域や島しょ地域の医療・介護を考える」
- 平成25年1月26-27日 第47回医学教育セミナーとワークショップ(沖縄)
平成25年3月1日 第5回全国シンポジウム
「地域推薦枠医学生の卒前・卒業後教育をどうするか〜地域住民が医師を育てる〜」

講演

- 平成24年5月17日 日本医師会認定産業医研修会(岡山)
「すぐ役立つ過重労働対策・事例に学ぶ過重労働対策」 岩瀬敏秀
- 平成24年6月14日 日本医師会認定産業医研修会(岡山)
「すぐ役立つ健康診断事後措置・事例に学ぶ適切な対応」 岩瀬敏秀
- 平成24年7月19日 日本医師会認定産業医研修会(岡山)
「すぐ役立つメンタルヘルス対応・事例に学ぶ適切な対応」 岩瀬敏秀
- 平成24年7月26日 中国労働衛生協会 産業保健研修会(福山)
「現場で役立つメンタルヘルス・業務遂行レベルに着目した取り組み」 岩瀬敏秀
- 平成24年11月17日 日本医師会認定産業医 生涯研修会 集中研修会(岡山)
「職場でよくある健診事後措置対応 クロスロードによる検討」 岩瀬敏秀
- 平成24年12月7日 日本原燃株式会社 管理職研修会(青森)
「現場で役立つメンタルヘルス対応」 岩瀬敏秀
- 平成25年3月10日 2012年度中四国地域医療フォーラム(愛媛)
「地域枠学生のキャリアパスについて」 岩瀬敏秀

各種報道

- 平成24年8月19日 [山陽新聞岡山医療ガイド/山陽新聞]
真庭で地域医療セミナー 岡山、広島大生ら参加
- 平成24年8月19日 [山陽新聞/山陽新聞]
地域医療学ふ合同セミナー 真庭 岡山、広島、自治医科大学
平成24年9月2日 [山陽新聞岡山医療ガイド/山陽新聞]
学生が地域医療の課題討論 美作でワークショップ
- 平成24年9月4日 [山陽新聞/山陽新聞]
中山間地の現状学ぶ 美作で川崎福大生ら参加し研修会 地域づくりや医療テーマ
- 平成24年9月9日 [山陽新聞/山陽新聞]
地域医療人を育成 岡山大、11日センター開所 市民にも開放
- 平成24年9月11日 [毎日新聞/毎日新聞]
岡山大 「医療人育成施設」開所 県内の南北格差を是正へ
- 平成24年9月12日 [読売新聞/読売新聞]
地域医療の人材開発拠点 県、岡大開所 高機能訓練機器備え
- 平成24年9月12日 [YOMIURI ONLINE/読売新聞]
県、岡大開所 高機能訓練機器備え
- 平成24年9月12日 [山陽新聞/山陽新聞]
地域医療底上げを 岡山大 育成センター開所
- 平成24年9月12日 [山陽新聞岡山医療ガイド/山陽新聞]
岡山大 育成センター開所 地域医療の底上げ図る
- 平成24年9月12日 [日本経済新聞/日本経済新聞]
地域医療人材育成施設 岡山大、医師など偏在是正
- 平成24年9月12日 [日本経済新聞Web刊/日本経済新聞]
岡山大、地域医療の人材育成施設 医師など偏在是正
- 平成24年9月12日 [産経新聞/産経新聞]
地域医療人育成センター開所 最新の知識や技術提供 岡山大 南北格差の解消が狙い
- 平成24年9月12日 [msn 産経ニュース/産経新聞]
地域医療人育成センター開所 最新の知識や技術提供 岡山大
- 平成24年10月14日 [山陽新聞/山陽新聞]
医師の偏在を解消し地域医療の充実図ろう
- 平成24年9月30日 [山陽新聞/山陽新聞]
新・地域考 医師不足 改善するか 岡山大で進む地域枠生養成
- 平成24年10月14日 [山陽新聞岡山医療ガイド/山陽新聞]
医師不足 改善するか 岡山大で進む地域枠生養成
- 平成24年11月30日 [備北民報/備北民報]
来年2月に看護就職フェア 医師募集ホームページも協議 第4回地域医療ミーティング推進協